

< 認知症対応型共同生活介護用 >

評価結果報告書**地域密着型サービスの外部評価項目構成**

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	第4670700477号
法人名	医療法人 愛郷会
事業所名	グループホーム あすか
訪問調査日	平成19年8月6日
評価確定日	平成19年11月19日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年8月23日

【評価実施概要】

事業所番号	第4670700477号
法人名	医療法人 愛郷会
事業所名	グループホーム あすか
所在地	鹿児島県奄美市名瀬西中勝 1 1 9 9 ~ 1 1 (電 話) 0997-55-7155
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市下荒田 2 丁目 4 8 番地 1 3 号
訪問調査日	平成19年8月3日

【情報提供票より】(19年 7月 15日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 16年 8月 3日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	14 人 常勤 3 人, 非常勤 7.5 人, 常勤換算 7 人

(2)建物概要

建物構造	平屋木造造り 1 階建ての 1 階 ~ 1 階部分
------	------------------------------

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	1日100 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(7月 15日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 85.31 歳	最低	71 歳	最高	98 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	名瀬徳州会病院 歯科名瀬徳州会病院(口腔外科)
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

美しい海と、集落、運動をしている中学生の元気な声が聞こえてくる中に立地しているホームである。管理者は、地域貢献への取り組みに熱心であり、社会福祉会で講師を務めたり、中学生の体験学習を計画的に受け入れる努力をしている。職員は、利用者の介護度の軽減改善にでき得る最大限の工夫をしている。介護の結果は如実に表れて帰宅した利用者もいる。又利用者、家族等の負担金の軽減の為に職員はできる限りの努力をしている。本人や家族等の立場に立ったケアを推進し信頼関係ができています。地域や家族等との交流の場を多く計画し、協力関係を構築しながら、地域に根ざしたホーム運営を目指している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	評価の意義を理解し、前回の改善課題を職員と話し合い、理念を重要事項説明書やパンフレットに明記している。避難経路の段差の改善、又通路の手すり取り付け等課題を改善し、サービスの質の向上に活かすように取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義を理解している。全職員で評価を行い全体会議において、改善課題について話し合い、振り返りや気づきをサービスの質の向上に活かすように取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	地域住民代表、医師、家族代表、民生委員、行政の職員等幅広い人の参加を得て、定期的に開催している。運営推進会議規定やホームの行事表、地域との交流状況等事業所の取り組み内容や協力関係を話し合っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	定期的にホーム便りの発行と、日常の暮らしぶりや行事を家族に送付している。家族会や家族等の来訪時にも伝えている。金銭管理は領収書と通帳のコピーにより報告している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域の港祭り、夏祭りに参加している。学校行事の運動会、文化祭の見学や、学生のボランティア活動や体験学習を受け入れている。又ホーム便りの配布や市民清掃への参加等地域との交流はあり、町内会に加入する準備もできている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者は、その人らしく暮らせる事、家族等の交流を重視した理念を活きた方針として語り、職員全員支援を理念として確認しているが、地域密着型という新しいサービスを反映した理念の盛り込みはこれからという段階である。		地域密着型サービスという新しいグループホームの位置づけに即した理念を作成する事を期待したい。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には理念を伝えて共有に努めている。毎日の申し送り時に唱和している。又ミーティング、毎月の勉強会で理念を浸透させて、日々のケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	学校行事の運動会、文化祭に参加している。地域の港祭り、夏祭りへの参加や小・中学生がボランティアとしてきてくれたり、又ホーム便りを地域に配布する等地域との交流はあり、町内会に加入する準備もできている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、改善課題を職員と話し合い、理念を重要事項説明書に明記したり、避難経路の段差の改善、通路の手すりの位置等課題を改善し、サービスの質の向上に活かすように取り組んでいる。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域住民代表、医師、家族、民生委員、行政の職員等、幅広い人の参加を得て、事業所の取り組み内容や協力関係を話し合っている。意見を集約し、地域の理解や協力を求めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当窓口に対して、事業所の考え方を共有してもらえよう、又ホーム便りを直接届ける等関係作りを積極的にいき、協力関係を継続している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的にホーム便りの発行と日常の暮らしや行事を家族に送付している。金銭管理は領収書と通帳のコピーにより報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や家族等の来訪時に近況を報告し、意見や要望を出してもらっている。家族との会話の中で得られた意見や要望は、ミーティングで話し合い、運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員が対応することの重要性を運営者は理解しており馴染みの職員が継続的に支える体制作り(離職の場合は職員と納得するまで話し合いをする等)に努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、職員の育成に熱意を持っている為、段階的な研修の機会を職員と話し合いながら設けている。研修会の報告をして全職員が共有できる仕組みができています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム全国大会や島グループホーム協会の研修会に参加している。又入居者と他グループホームに出向いたりして、交流を図っている。グループホーム協会の職員交代研修に取り組む準備もしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望の場合には、病院、居室、支援センターへ出向いて本人、家族の思いや要望を話し合い、見学や1日体験入所を経験してもらい信頼関係を築きながら、安心と納得を得た上で支援をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	島唄を歌ったり、本読みや折紙づくり、調理の下ごしらえ等日常生活の中で、得意とする事は力を発揮してもらっている。味付けやジャガイモ植えなどを教わったり、良好な関係を保っている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	態度や口頭でしっかり意思表示をしている利用者もいる。困難な方に対しては、勉強会で観察でき得る事柄を、職員と話し合い工夫しながら、思いや意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時に本人や家族等から生活歴や要望を聴き作成している。介護計画をもとに、職員全員で意見交換やカンファレンスを行い、本人本位の介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	4ヶ月に1回見直しを行い、担当者会議には利用者や家族にも出席してもらっている。見直し後、介護経過記録に従って評価を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族・本人の状況に応じて病院受診の送迎等必要な支援は、柔軟に対応している。ショートステイ等の受け入れを検討している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医に受診している。家族と協力して通院介助を行ったり、訪問診療を受けている。受診結果は家族にも報告している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する指針を定めており、家族、医師、看護師を交え話し合いを行っている。職員は重度化に対する指導を受け勉強会を行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常の関わりの中や、ミーティングの折に、職員の意識向上を図り、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応への徹底を図っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や就寝時間、入浴、散歩、外出など一人ひとりの状態や思いに配慮しながら、職員同士が工夫して柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえ等を入居者と一緒に行い、職員も同じテーブルを囲んでサポートしながら楽しく食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人や家族から一人ひとりの習慣や好みを聞いて、相談しながら入浴の支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作り、ジャガイモ植え、本読み、犬の世話や押し花作り等利用者の趣味や特技を発揮する場面作りをしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	公園への散歩、ドライブ、買い物の他、地域行事への参加、墓参りに出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠しておらず、利用者、来訪者が気軽に出入りしている。徘徊の多い利用者に対しては、家族の同意を得て施錠をする場合もある。(道路に面しているホームである為)		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域消防団のもと、夜間想定、初期消火、避難方法など指導をもらいながら、入居者も一緒に避難訓練を行っている。台風などの災害に備えた食料品の備蓄もされている。地域住民との協力体制や訓練への参加等の呼びかけは検討段階である。		災害時に住民の協力が得られるように運営推進会議や、町内会に呼びかけるなど、検討しながら災害時に向けた地域住民との協力関係を築いていく取り組みが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な食事量、水分摂取量を記録し、一人ひとりの状態の把握に努めている。主治医による栄養指導を受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、全体的に明るく温かみがあり、居間には家庭的なソファや家具、本棚が置かれている。玄関前にはくつろげるようにデッキも置かれている。季節を感じる工作を飾るなど、生活感にあふれ居心地良く過ごせる工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	位牌やタンス、写真、自作の工作類を飾るなど入居者の状況や好みに応じて、その人らしく安心して過ごせる配慮がなされている。		